

特記仕様書
(スマート I C 設置基礎調査業務委託)

1 業務の目的

本業務は、第二神明道路明石サービスエリア(以下明石SA)へのスマートICの設置に係る基礎調査を実施することで、現状を把握するとともに整備方針や設置の必要性について検討することを目的とする。

2 対象地

第二神明道路明石SA周辺※位置図参照

3 履行期間

契約締結日の翌日から2023年3月10日まで

4 業務内容

(1) 現状および課題整理

第二神明道路の玉津IC～大久保IC間における、地形、土地利用状況、主要拠点(観光・医療・防災等)、道路ネットワーク、関連計画等を整理する。
地形、土地利用、主要道路等における課題を整理する。
スマートIC候補地(明石SA)周辺地域を含めた車両及び人の動き等を把握し整理する。
主要道路を含む周辺道路の整備方針の確認を行う。

(2) 概略検討

ア スマート I C 概略検討

明石SAへのスマートICの設置を想定し、ルート(3ルート)や形状、構造等を比較検討し、概略設計を行う。※検討状況によって増減が生じる場合は設計変更の対象とする。
スマートICの概略設計に対して概算事業費の算出を行う。

イ 交通量推計

現況交通量の再現を行う。
将来交通量の推計を行う(現況とスマートIC有りの1ケース)。
※検討状況によって増減が生じる場合は設計変更の対象とする。
将来交通量の推計で使用した自動車起終点のデータから、利用交通量の分析を行う。

ウ 周辺道路の整備計画の作成

将来交通量の推計を踏まえ、主要道路(国道・県道等)を含む周辺道路について、改良

等課題の解決策を検討し、整備計画を作成する。

工 費用便益の算出

国土交通省の『費用便益分析マニュアル』に基づき、費用便益(3便益:走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少)の算出を行う。

オ 候補地における社会便益等必要性検討

本市が別途検討している明石SA近傍の大久保北部遊休地活用や周辺地域の道路ネットワークの課題解決に資する効果など、スマートIC設置による社会便益をとりまとめ、その必要性を検討する。

(3) 報告書の作成

報告書(ファイル綴じ) 2部

報告書【概要版】(ファイル綴じ) 2部

図面等資料 一式

上記の電子データ 一式

分析結果に関する地理空間情報(shapefile) 一式

打合せ協議簿 一式

(4) 協議打合せ

協議打合せは、業務着手時(1回)、成果品納入時(1回)の他、中間時(1回)とする。

位置図

